

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北陸財務局長

【提出日】 2020年5月7日

【四半期会計期間】 第3期第3四半期(自 2019年12月21日 至 2020年3月20日)

【会社名】 Genky DrugStores株式会社

【英訳名】 Genky DrugStores Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤 永 賢 一

【本店の所在の場所】 福井県坂井市丸岡町下久米田38字33番

【電話番号】 0776(67)5240

【事務連絡者氏名】 執行役員 財務部長兼IR広報室長 常 見 武 史

【最寄りの連絡場所】 福井県坂井市丸岡町下久米田38字33番

【電話番号】 0776(67)5240

【事務連絡者氏名】 執行役員 財務部長兼IR広報室長 常 見 武 史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第2期 第3四半期 連結累計期間	第3期 第3四半期 連結累計期間	第2期
会計期間		自 2018年6月21日 至 2019年3月20日	自 2019年6月21日 至 2020年3月20日	自 2018年6月21日 至 2019年6月20日
売上高	(千円)	76,392,792	86,202,557	103,897,310
経常利益	(千円)	3,125,098	2,666,037	4,305,165
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	2,147,979	1,718,735	2,697,564
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	2,128,332	1,701,016	2,679,947
純資産額	(千円)	25,546,442	26,637,276	25,309,818
総資産額	(千円)	65,100,752	81,514,543	67,855,228
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	138.78	113.24	174.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	39.2	32.7	37.3

回次		第2期 第3四半期 連結会計期間	第3期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年12月21日 至 2019年3月20日	自 2019年12月21日 至 2020年3月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	43.44	64.73

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 前第3四半期連結累計期間及び第2期における「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当第3四半期連結累計期間における「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年6月21日から2020年3月20日まで）におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用・所得環境は緩やかな回復基調にあるものの、消費増税による消費マインドの落ち込みへの懸念に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「近所で生活費が節約できるお店」をコンセプトに、地域シェアを高めるためドミナントエリア構築に邁進いたしました。また、お客様のショートタイムショッピングに貢献するため、青果や精肉などの生鮮食品の品揃えを強化するとともに、競争力強化のため、生活必需品のディスカウントに尽力いたしました。

当第3四半期連結累計期間における新規出退店につきましては、300坪タイプを岐阜県に6店舗、福井県に3店舗、愛知県に11店舗、石川県に10店舗出店し、大型店を1店舗閉店いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、大型店77店舗、300坪タイプ202店舗、小型店2店舗の合計281店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は862億2百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ98億9百万円(12.8%)増加いたしました。利益に関しましては、2019年7月に稼動した岐阜県の物流センターの立ち上げに伴う税金等の一時費用により、経常利益は26億66百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ4億59百万円(14.7%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、17億18百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ4億29百万円(20.0%)の減益となりました。

次に、当第3四半期連結累計期間における業態別の売上高を見ますと、「大型店」371億45百万円、「300坪タイプ」486億96百万円、「小型店」2億64百万円、「その他」96百万円となりました。また、商品別の内訳では、「食品」532億79百万円、「雑貨」119億11百万円、「化粧品」107億55百万円、「医薬品」89億5百万円、「その他」13億50百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ136億59百万円増加し、815億14百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が45億74百万円、有形固定資産が68億21百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ123億31百万円増加し、548億77百万円となりました。これは主に買掛金が41億21百万円、長期借入金が増加した82億53百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億27百万円増加し、266億37百万円となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月20日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,477,484	15,477,484	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であり ます。
計	15,477,484	15,477,484		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月21日～ 2020年3月20日		15,477,484		1,000,000		

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2020年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 300,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,168,600	151,686	
単元未満株式	普通株式 8,784		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	15,477,484		
総株主の議決権		151,686	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が8,800株(議決権88個)含まれております。

## 【自己株式等】

2020年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) Genky Drug Stores 株式会社	福井県坂井市丸岡町 下久米田38字33番	300,100		300,100	1.94
計		300,100		300,100	1.94

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

## 役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役 P B 商品開発部門担当	取締役マーケティング部門担当	内田 一幸	2019年9月25日

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年12月21日から2020年3月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年6月21日から2020年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,443,674	7,017,873
売掛金	1,124,996	1,639,165
商品	16,693,963	17,531,939
原材料及び貯蔵品	61,025	60,363
その他	1,422,755	2,092,954
流動資産合計	21,746,414	28,342,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,394,650	37,086,421
その他(純額)	10,749,651	9,879,024
有形固定資産合計	40,144,302	46,965,445
無形固定資産	291,174	306,204
投資その他の資産	5,673,337	5,900,597
固定資産合計	46,108,814	53,172,247
資産合計	67,855,228	81,514,543
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,786,015	17,907,147
短期借入金	780,000	
1年内返済予定の長期借入金	5,128,025	5,613,083
未払法人税等	931,296	245,672
賞与引当金	65,899	244,536
ポイント引当金	304,435	313,957
独占禁止法関連損失引当金	57,822	57,822
その他	3,638,738	4,241,007
流動負債合計	24,692,232	28,623,226
固定負債		
長期借入金	15,697,364	23,950,366
資産除去債務	1,473,094	1,641,343
その他	682,718	662,330
固定負債合計	17,853,178	26,254,039
負債合計	42,545,410	54,877,266



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	6,795,251	6,795,251
利益剰余金	18,272,099	19,611,401
自己株式	788,681	788,813
株主資本合計	25,278,668	26,617,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,149	13,430
その他の包括利益累計額合計	31,149	13,430
新株予約権		6,006
純資産合計	25,309,818	26,637,276
負債純資産合計	67,855,228	81,514,543

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2019年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月21日 至2020年3月20日)
売上高	76,392,792	86,202,557
売上原価	58,584,850	67,434,932
売上総利益	17,807,941	18,767,624
販売費及び一般管理費	14,919,931	16,324,802
営業利益	2,888,010	2,442,822
営業外収益		
受取利息	10,989	7,863
受取賃貸料	202,335	208,897
受取手数料	148,732	165,509
その他	99,648	76,885
営業外収益合計	461,705	459,156
営業外費用		
支払利息	25,758	42,072
賃貸費用	138,844	144,582
その他	60,015	49,286
営業外費用合計	224,617	235,941
経常利益	3,125,098	2,666,037
特別損失		
減損損失		1 162,182
特別損失合計		162,182
税金等調整前四半期純利益	3,125,098	2,503,854
法人税、住民税及び事業税	1,101,337	922,245
法人税等調整額	124,218	137,127
法人税等合計	977,118	785,118
四半期純利益	2,147,979	1,718,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,147,979	1,718,735

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月21日 至2019年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月21日 至2020年3月20日)
四半期純利益	2,147,979	1,718,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,100	17,719
為替換算調整勘定	3,546	
その他の包括利益合計	19,646	17,719
四半期包括利益	2,128,332	1,701,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,128,332	1,701,016
非支配株主に係る四半期包括利益		

## 【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した富士パール食品株式会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結計算書関係)

## 1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月21日 至 2020年3月20日)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損を計上しております。

場所	用途	種類	金額(千円)
岐阜県美濃加茂市	店舗	建物及び構築物ほか	30,988
岐阜県可児市	店舗	建物及び構築物ほか	69,446
岐阜県岐阜市	店舗	建物及び構築物ほか	61,747

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として店舗を基本単位としてグループिंगしております。店舗のうち収益性が低下した資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。回収可能価額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを3.4%で割り引いた現在価値により算定しております。

減損損失の内訳	
建物及び構築物	161,963千円
その他	219千円
計	162,182千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月21日 至 2020年3月20日)
減価償却費	2,425,139千円	2,748,414千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月7日 定時株主総会	普通株式	193,467	12.50	2018年6月20日	2018年9月10日	利益剰余金
2019年1月22日 取締役会	普通株式	193,467	12.50	2018年12月20日	2019年2月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月21日 至 2020年3月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月6日 定時株主総会	普通株式	189,717	12.50	2019年6月20日	2019年9月9日	利益剰余金
2020年1月22日 取締役会	普通株式	189,716	12.50	2019年12月20日	2020年2月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨、食品等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月21日 至 2019年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月21日 至 2020年3月20日)
1株当たり四半期純利益金額	138円78銭	113円24銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	2,147,979	1,718,735
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	2,147,979	1,718,735
普通株式の期中平均株式数(株)	15,477,376	15,177,339

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第3四半期連結累計期間における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

(1) 2020年1月22日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・189,716千円

1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・12円50銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・2020年2月27日

(注) 2019年12月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

(2) 公正取引委員会による立ち入り検査について

当社子会社であるゲンキー株式会社は、公正取引委員会から、独占禁止法第2条第9項第5号(優越的地位の濫用)等に該当する行為を行っている疑いがあるとして、2018年11月7日に立ち入り検査を受けました。

公正取引委員会の調査は現在継続中ですが、独占禁止法に関連した支払に備えるため、案件ごとの事実と状況に照らして関連損失の発生可能性を勘案し、2019年6月期に損失見込額を独占禁止法関連損失引当金として57,822千円計上しております。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月27日

Genky DrugStores株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高	村	藤	貴
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	安	藤	武	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGenky DrugStores株式会社の2019年6月21日から2020年6月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年12月21日から2020年3月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年6月21日から2020年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、Genky DrugStores株式会社及び連結子会社の2020年3月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。